

さわやか内科クリニック 院長インタビュー



中村 勝重先生

2021/6/16

さわやか内科クリニック院長インタビュー



F-CON

さわやか内科クリニック（岐阜県関市）

- 院長 中村 勝重先生
- 設立 平成24年11月
- 診療科目 内科・循環器内科・皮膚科
- 病院を建築するタイミングでF-CON導入 ※当時は光冷暖
- 工事施工 高畑建設



※写真は病院HPより抜粋
<http://www.soyokaze-sawayaka.com/index.html>



中村 勝重 院長

質問：さわやか内科を建築してどれくらい経ちますか？

➔ 建築から10年経ちました

質問：F-CON（旧：光冷暖）を知ったきっかけを教えてください。

➔ F-CON（旧：光冷暖）のことは知らなかった。病院建設に携わる高畑建設さんの方から話を伺って知った。

質問：先生がF-CON（旧：光冷暖）の話を最初に聞いた時、モデルハウスで体感されましたか？

➔ そうですね。F-CON（旧：光冷暖）がある部屋に入って体感しました。

F-CON導入について



F-CON

質問：F-CON（旧：光冷暖）導入の決め手は何でしたか？

- ➔ F-CON（旧：光冷暖）だと風が起こらない（無風）と聞いたこと。
冬場のウイルス感染症とかはやっぱり風が舞うことで広まってしまうので、それが導入の決め手になった。

質問：F-CON導入された時、岐阜県の病院としては初めてだったと思いますが、しかも、ここまで大きな病院となると、導入することについて心配事などありませんでしたか？

- ➔ 実際にどれだけ冷房、暖房が効くのか不安はありましたが、高畑建設さんには大きな信頼があったので、そこは任せて導入を決めました。

質問：病院に導入となると、一般的な住宅と比べてF-CONパネルの台数が増えてしまいますが、そういった点で不満に思うことなどありませんでしたか？

- ➔ 当院も開業して10年になるが、その中で施設の拡張を考えた際に当初のレイアウトからの変更を求める時には、やはりパネルの設置場所などで悩ましいケースもあった。
が、そこを十分に考慮して配置することで、大きな問題にはならなかったと思います。

F-CON導入後の院内の様子

質問：この10年間、院内の様子（院内感染など）はどうでしたか？

- ➔ 比較対象がないので、F-CON（旧：光冷暖）導入で院内感染のリスクが「増えた・減った」の判断は難しいが、特に受診された方で、続々と同じ感染症にかかってしまった事例はなかったので、効果はあったのかなと思う。

質問：F-CON（旧：光冷暖）の「冷房、暖房の効果が足りない」といったことは、先生ご自身、またはスタッフの方から言われたことはありますか？

- ➔ 初期設定で温度を低くしておくとはならないが、どうしても患者さんの出入りが多くなった時に、少し効きが欲しいと思うことはある。
自動ドアが頻繁に開いたりする時など。

質問：来院される患者さんから、「F-CON（旧：光冷暖）が良い・悪い」といった声はありますか？

- ➔ 悪い声は特に聞かないですね。ただ、F-CON（旧：光冷暖）のことを皆さんあまりご存知ないのか、「その機械はなんだ？」という声はある。

質問：F-CONパネルが、デザイン的に病院のイメージや、雰囲気悪くしているとか、そういったことはありますか？

- ➔ 「F-CONがない方がいい」と言う声も聞かないし、悪い声は聞かないですね。特に病院として問題になってはいない。

F-CON導入後の院内の様子

質問：院内が乾燥しすぎるとインフルエンザの危険などもあるが、湿度環境はいかがですか？

- ➔ 湿度に関しては、乾燥に傾くことはないかなと。ただ今の時期、どうしても梅雨時なので、雨が降ったりすると若干湿度は高くなる印象がある。乾燥に関しては全然問題ない。

質問：梅雨時は、除湿機などを使用していますか？

- ➔ 除湿機を使うと、「風が舞う、舞わない」があるので、極力使わないようにしている。除湿機を置くほどではない。

質問：電気代という観点から、何か気になることはありますか？

- ➔ 経理に関しては直接携わっていないが、経理担当から「電気代を抑えるように」という声は上がっていないので、特別気にするほど電気代が高いということはないという印象です。

質問：お掃除(お手入れ)の観点からはいかがでしょうか？

- ➔ パネルは気になるような目立った汚れはないので、特に何もしていません。水が溜まる部分、ダクトの部分は定期的に掃除をしています。

質問：普段、診察室の机などのホコリのたまり具合はいかがですか？

- ➔ 人が移動することで、床部分では風が起こってくると思うが、机や床のホコリは特に気にはならない。気になるような綿埃などはあまりない。

F-CONの課題点

質問：F-CONの課題点を教えてください。

→ 換気をした後の室内温度も戻りを速くしてほしい。

空気の入替え（人の出入り）の際に、どうしても冷房、暖房の効き目が落ちたと感じる。特に、処置後に換気をしたい時があるので換気扇を回したりすると、温度変化が起きて、一時的に暑くなったり、寒くなったりしてしまう。そこを改善していただければより一層いいものになると思う。

質問：エアコンの併用はしていますか？

→ していない。

質問：どのような時に換気扇を回しますか？外科的な手術を行ったりするのでしょうか？

→ 皮膚科もやっているのですが、イボの処置をレーザーで行うとガスが発生して臭いも出てくる。そのために換気をする必要がある。

質問：先生は皮膚科の患者さんも診察なさっていますが、アレルギーなどは「空気の質」というのは影響しますか？

→ アレルギーの中には、「ダニ・ハウスダスト」が原因で発症するものもある。そういった点で、空気がキレイになるということは効果があると思う。空気環境が悪い、不衛生なところだと、アレルギーも出やすい。

質問：F-CON（旧：光冷暖）は「風がないので、ダニ・ハウスダストが舞いにくい」というのはメリットと言えるでしょうか？

→ そうですね。

質問：最近のコロナ禍で、デリケートな環境だと思うが、そのあたりはいかがですか？

- ➔ コロナ感染も「飛沫感染」ということで、**空気が舞うことが感染リスクになってくる**と思うので、そういったところでもF-CON（旧：光冷暖）を導入したことで、一定の効果はあったと思う。

質問：コロナ患者さんも受け入れていますか？

- ➔ 通常の患者さんとは入り口と経路を別にしてある。その時点で感染リスクは少ないのだが、発熱がある方も来院している。

質問：コロナで対策をしても院内感染したというニュースを聞くと、「国が求める基準では足りていないのかな？」と思ったりするが、先生はどう思われますか？

- ➔ 病院は症状がある方だけでなく、そうでない方も色々と出入りするので、どうしても院内感染につながっていく。

あと、医療従事者の方は自分自身は気を付けているつもりでも、やはり他の一般の方と比べると感染のリスクが高いので、そういったことから院内感染が増えてきてしまっているのかな。

質問：そういった意味では、先生やスタッフの方も「**風が舞わない環境**」だと感染リスクが**抑えられている**と思われますか？

- ➔ そうですね。

病院がF-CON導入することについて

質問：F-CON導入の病院が増えるようになっていくと思いますか？

これからの病院のあり方など、先生のご意見をお聞かせください。

- 空調設備が大きく変わることで、「ホコリが舞う・舞わない」という点もあるが、やはりエアコンを長年使用していると、フィルターにカビが生えてきたりとか違う支障が多々出てくると思います。
F-CONを中心にした空調になってくると、より呼吸面であったりとか、感染の対策に気を配った病院が増えて、結果的に患者さんに寄与できるのではないかと思います。

質問：これから病院を建築される方の中には、F-CON導入を検討する方もいると思いますが、そういった方々に何かメッセージがあればお願いします。

- F-CONそのものが、「風を起こさないこと」はもちろんなんですけど、そういったところを除いたとしても、一般的な冷暖房設備として十分効果があると思いますね。
当院は、アルコール臭などの独特のニオイが感じられないのですが、それも「F-CONがニオイをとってくれる効果」があると思います。
導入をお考えの方は、ぜひ前向きに検討いただければと思います。

